

◎土鈴づくり



オリジナルの土鈴に
にっこり

1月5日、鬼北町児童クラブで毎年恒例の土鈴づくりが行われました。

わかば作業所の職員を講師に迎え、近永小学校1、2、3年生19人が参加。子どもたちは、今年の干支である「丑（うし）」の形をした真っ白の土鈴に、絵の具を使って楽しみながら色をつけていき、個性豊かな土鈴を完成させていました。

とらふこうぞ

◎虎斑楮の収穫



地域に残る伝統ある
泉貨紙に親しむ

1月13日、泉小学校5年生が泉公民館駐車場で泉貨紙の原料となる虎斑楮を収穫しました。

この虎斑楮は、宮城県白石市から贈られたもの。鬼北泉貨紙保存会の平野邦彦会長から収穫方法を教わった子どもたちは、想像よりも固い枝に苦戦しながら、剪定ばさみなどを使って枝を145cmほどに切っていき、虎斑楮の収穫を体験していました。

◎愛媛県美術館 おでかけ美術館



愛媛県美術館の
魅力を伝える

1月29日から2月17日までの間、中央公民館で愛媛県美術館による「おでかけ美術館」の展示が行われました。

昨年、愛媛県美術館は開館50周年。展示では、愛媛県美術館が所有する、郷土ゆかりの作家らによる作品の一部を写真や映像で紹介していました。

◎愛治地区どんど焼き



新型コロナの
収束を願う

1月10日、清水保育所前河川敷で、愛治地区のどんど焼きが開催されました。

訪れた人たちは、愛治地区で飾られていたジャンボ門松や各家庭で飾られていた正月飾りなどが勢いよく燃え上がる様子を見守りながら、家内安全や無病息災とともに、新型コロナの収束を祈願していました。

◎新たにヘリポートを3カ所整備



ゆるキャラ入りの
かわいいヘリポート

このほど、迅速な救急医療に対応するため、町内に新たなヘリポートが3カ所整備されました。

新たに整備された場所は、三島小学校、愛治小学校、川口集会所。その内、三島小学校のヘリポートには、きほくんと、きじの助が描かれました。新たに整備された3カ所を含め、町内には7カ所のヘリポートが整備されています。

◎山岳霊場「奈良山」と国史跡等妙寺旧境内展



等妙寺の深い
歴史を学ぼう

1月30日、鬼北町歴史民俗資料館で山岳霊場「奈良山」と国史跡等妙寺旧境内展が始まりました。

展示では、これまでの調査で見つかった土器などとともに、調査結果をまとめたパネルが展示され、等妙寺の深い歴史と魅力を訪れた人たちに伝えていました。